

宇都宮市立陽東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・ICT活用による主体的に課題解決できる児童の育成	・Googleツールを活用した協働的な学びの実践。学習に対して困り感のある児童に対する個別支援や様々な授業における、目的に応じた学習方法や学習環境の工夫。	・6年生では「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」に肯定的に回答した児童の割合は97.0%で、市の平均を7.8ポイント上回った。「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」についても97.0%の肯定割合で、市の平均を9.2ポイント上回った。他の学年でも、高い肯定割合であった。
・家庭学習の習慣化に向けた取り組み	・3～6年生では宿題のほかに自主学習ノートを利用した学習に取り組ませ、定期的に提出するよう指導している。	・6年生では「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」に肯定的に回答した児童の割合は68.2%で、市の平均を21.4ポイント上回った。また「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」については75.8%の肯定割合で、市の平均を7.4ポイント上回った。しかし家庭学習については、課題が見られる学年もあった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・6年生では全教科において、ほぼすべての領域および観点で市の平均や参考値を上回っている。今後も基礎・基本を大切にしながら、発展的な課題にも取り組んでいきたい。
- ・どの教科・領域においても、学力の2極化が伺える。一人一人にきめ細やかに個別指導を行うことが必要である。
- ・一人一台の端末を日常的に利用するようになり、子供たちが積極的に端末を活用して主体的に学んでいく姿が見られたので、次年度も更に児童の学びを深めるためのツールとして、端末を活用していきたい。
- ・学習への意欲に関して、市の平均を下回る学年がいくつかあった。「学校の授業がどの程度分かりますか」についての肯定割合はほとんどの学年で市の平均を上回っているため、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるようにするための手立てについて、考えていきたい。